

### クリのプレゼント

10月20日(金)、学校法人東京農業大学の前理事長 大澤貫寿先生が来校され、1年生に食育ミニ講義「クリのお話」をしてくださいました。先生の出身地である茨城県がクリの名産地であること、子どものころに栗拾いをして、それをお家で焼いてもらって食べた話、クリとカスターネットの関係など、楽しいお話を聞かせていただきました。そして、1年生と2年生の全児童は先生から、クリをプレゼントしていただき、お家に持ち帰りました。大澤先生には毎年、児童へのクリのプレゼントをしていただいています。クリのお話を思い出しながら、家族とともに子どもたちはクリをおいしく味わったことでしょう。



### ごめんなさいが言える子に

どこの小学校でも同じことですが、本校でも、子どもたち同士の小さなトラブルは毎日のように起きています。間違っ**て**ぶつかってしまったり、モノを落としたり壊したり、良かれと思って手伝ったり言ったりしたことで**も**めてしまったり……。実は、先生方はその仲裁にも大忙しなのです。しかしもめごとの無い学校や学級を目指すことは、よい教育方針とはいえません。もめごとを経験することも、子どもたちには必要なのです。大切なのは、もめごとや嫌なことがあっても、相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを整理したり伝えたりする力を身につけること、さらに、解決の方法を自分たちで考える力を育てることでしょう。もめごとがいじめや学校嫌いにつながるようなことがあっては、絶対にいけません。しかし、もめごとがあっても、ただ泣いたり怒ったり、あるいは責めたり言い訳をしたりするのではなく、起きたことを整理し、お互いにごめんなさい、いいよ、次はこうしようね、が言える子どもになってほしいと思います。また、もめごとや困ったことは、下校前に先生に伝えて相談するように指導しています。自分の困りごとを子ども自身の言葉で先生に伝えることも、大切だと考えています。

学年が進むにつれて、学級で子どもたちが相談し合ったり、話し合ったりしている様子を見るとその成長を感じます。自分の意見をしっかり持つとともに、友だちとしてお互いを認め合えるよう

になったからこそできることだからです。学年が進むにつれて、周りの子どもたちも、自分には関係ないことだと無関心を決め込むのではなく、学級としてどうすればよくなるのか、自分はどうすればよいのかなど、広い視野で考えることができるようになるのが素晴らしいところです。

## うれしい東京農大生の活躍

11月3日(祝・金)、4日(土)、5日(日)、東京農業大学世田谷キャンパスでは学園祭である収穫祭が行われます。久しぶりに入場制限のない収穫祭です。収穫祭では、楽しいイベントや学生たちによる農作物や食べ物の模擬店・即売店のほか、研究室での日ごろの研究を発表する見ごたえのある展示(文化学術展)もたくさんあります。本校の子どもたちは、様々な研究の楽しさがわかる子どもたちです。ぜひ見に行ってほしいと思います。また「食と農」の博物館でも、醸造科学科展「JOZOO ー醸造と発酵のせかいー」が開催されているほか、(一財)進化生物学研究所によるトリケラトプス等のレプリカ修繕作業が公開中です。

10月14日(土)には東京農業大学の陸上競技部が「第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会」いわゆる箱根駅伝の予選会で総合11位となり、10年ぶり70回目となる箱根駅伝への出場権を獲得するといううれしいニュースがありました。さらにその翌日、10月15日(日)にマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)で優勝し、パリ2024オリンピック競技大会 日本代表に選ばれた小山直城選手(Honda)も東京農大の校友(卒業生)です。本校の子どもたちにも、勉強で頑張るのはもちろんのこと、スポーツをはじめ、それぞれの好きなことや得意なことに取り組む楽しさを忘れないでほしいと願っています。

### ●2023年度 東京農業大学 学園祭“収穫祭”

<https://www.nodai.ac.jp/campus/festival/2021/>

### ●東京農業大学「食と農」の博物館の収穫祭

<https://www.nodai.ac.jp/campus/facilities/syokutonou/4935/article/30251/>

### ●10年ぶり農友会 陸上競技部が「箱根駅伝」本線への出場権を獲得

<https://www.nodai.ac.jp/news/article/10-10/>

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子